

2013年度 情報検索基礎能力試験

試験問題

注意事項

1. 着席したら、受験票を机の上に置いて下さい。
2. 解答用紙の所定の欄に氏名とフリガナを記入し、下の記入例を参照して受験番号を記入およびマークして下さい。
また、「選択したコース名」欄に「Aコース」または「Bコース」何れかを必ずご記入下さい。記入のない場合は、採点対象となりませんので、ご注意ください。
3. 解答時間は、10：30～11：30の60分間です。
4. 中途退席はできません。
5. 問題は18問、13ページ、解答用紙は1ページです。確認の上、落丁・乱丁・印刷不鮮明のもの等がありましたら、手をあげて試験官にお知らせ下さい。
6. 解答は、問題文の指示にしたがい、解答用紙にご記入下さい。
7. 問題の内容に関する質問は一切できません。
8. 試験問題は持ち帰って結構です。
また、受験票を忘れずにお持ち帰り下さい。

記 入 例				
受験番号				
3	1	0	6	8
0	0	●	0	0
1	●	1	1	1
2	2	2	2	2
●	3	3	3	3
4	4	4	4	4
5	5	5	5	5
6	6	6	●	6
7	7	7	7	7
8	8	8	8	●
9	9	9	9	9

問1 次の文章の（１）～（５）にあてはまる最も適切な用語を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を２回以上使用しないこと。

一次情報を収録している資料を一次資料といい、図書、（１）、新聞、会議資料、規格資料、テクニカルレポート、学位論文、特許明細書などがある。

世界中で出版される特定の図書を識別するために（２）という国際識別コードが付与されている。（２）は、さまざまな国際規格を制定する（３）による国際規格となっている。

雑誌にも図書の（２）と同様、誌名識別コードである（４）が付与されている。（４）は学術雑誌にはほとんど付与されているが、娯楽雑誌には付与されていないことが多い。自然科学分野の学術雑誌は、とくに速報性や新規性が重視され、最も重要な情報源となっている。印刷物の他に（５）での提供形態も普及している。

解答群

- | | | | |
|---------|--------|------------|--------|
| a. ISBN | b. ISO | c. ISSN | d. JIS |
| e. 雑誌 | f. 書誌 | g. 電子ジャーナル | |

問2 次の（６）～（１０）の説明に最も関連の深い用語を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を２回以上使用しないこと。

（６）図書館の情報サービスのうち、直接的に情報提供ができない場合に、情報を提供できると思われる人や機関を紹介するサービスである。

（７）利用者が興味のある最新情報や、継続的に監視する必要のある情報を提供する、カレントアウェアネスサービスの一つである。

（８）1970年以降データベース提供機関として商用データベースの普及に貢献してきた、抄録誌や索引誌の作成機関の一つである。

（９）オンラインで共同分担目録作業が行えるシステムを提供する、書誌ユーティリティの一つである。

（１０）雑誌論文を中心として文献を複写し、原報提供サービスを行う専門機関として有名である。

解答群

- | | | | |
|---------|-------------------------------|---------------------|------------|
| a. BLDS | b. Chemical Abstracts Service | c. ILL | d. OCLC |
| e. RSS | f. SDI service | g. referral service | h. 国立国会図書館 |

問3 次の(11)～(15)の各文章について、正しいものには a を、誤りであるものには b を解答用紙にマークしなさい。

- (11) オンライン検索サービスが提供するデータベースは、当初は、雑誌論文や図書についての書誌情報の検索を目的とする書誌データベースが中心であった。
- (12) オンディスク検索の利点は、コンピュータとの接続時間を気にせず、落ち着いて繰り返し検索できる点である。
- (13) OPACはオンライン閲覧目録のことで、各図書館の蔵書資料の目録をコンピュータで検索できるようにしたものである。最近では、インターネット経由で利用可能な場合が多い。
- (14) 1970年代中頃に、コンピュータの補助記憶媒体としてCD-ROMが実用化されると、これを利用した新たな検索方式が加わることになった。
- (15) インターネットを利用した場合、WWWのCUI(character user interface)を活用できるので、操作性・見やすさの点でも非常に優れた検索システムが実現されている。

問4 次の(16)～(20)の説明にあてはまる最も適切な用語を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (16) 文献情報などの検索システムでは、検索を高速に実行するためにあらかじめ各レコードから語句を抽出しておき、どの語がどのレコードに出現するかを記録したファイルを活用している。
- (17) 一般的にはシーケンシャルファイルなどと呼ばれ、タイトルフィールド、著者名フィールド、抄録フィールドなどから構成されているファイルのことである。
- (18) 英文データベースなどで、書誌ファイル中のレコードが「…theory of library science…」という表現を含んでいた場合、ofは索引語の対象外となることが多い。
- (19) 日本語を使用したデータベースでは、テキスト中の文字列から語を識別し、それに品詞を付与する自然言語処理技術が応用されている。
- (20) 自然言語処理には、明示的に語を識別せず、重複させつつ2文字ずつ機械的に切り出す手法もある。

解答群

- | | | | |
|----------|-----------|------------|-----------|
| a. 形態素解析 | b. 書誌ファイル | c. ストップワード | d. 転置ファイル |
| e. ノイズ | f. バイグラム | g. 分類記号 | h. メタファイル |
| i. モノグラム | | | |

問5 次の文章の(21)～(25)に入る最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

英語などの言語の場合、語尾変化が問題を引き起こすことがある。例えば、library(単数形)とlibraries(複数形)は、文字列としては異なるから、libraryという検索語だけでは、librariesのみを使っている文献は検索されない。この種の問題に対処するにはトランケーション(部分一致)の機能を使うと便利である。例えば、ある検索システムでは、検索語を「librar? 」とすれば、libraryでもlibrariesでも検索してくれる。なお、「librar? 」の場合には、特に(21)と呼ばれる。一方、「? metrics」は(22)、「? graphic? 」は(23)、「lab? r」は(24)である。ただし、これらの機能が使えないシステムも多い。

また、システムによっては、(25)が使えるものがある。例えば、「library(w)science」のように指定するとlibraryとscienceとが隣り合って出現するような文献のみが検索される。ここで「(w)」が(25)である。

解答群

- | | | | |
|----------|----------|---------|----------|
| a. 概念演算子 | b. 近接演算子 | c. 検索式 | d. 後方一致 |
| e. 前方一致 | f. 中間一致 | g. 中間任意 | h. 論理演算子 |

問6 次の(26)～(30)にあてはまる最も適切な用語を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

人間が判読可能な文字と、改行やタブなどの一部の制御コードのみを含んだファイルを(26)と呼ぶ。これに対して、ワープロの文書ファイルなどでは、文字飾りなどの情報を保持するために、その他の制御コードも使用されている。このようなファイルを(27)ファイルと呼ぶ。制御コードは本来、コンピュータがその処理や通信の制御に使用するものであるから、(27)ファイルの取り扱いには、(26)ファイルよりも技術的に難しくなる。

画像をデジタル化する場合、まず画像を $256 \times 256 = 65536$ 個のマスを分割する。このマスを(28)と呼ぶ。画像を(28)の集まりとして記録したファイルを(29)ファイルといい、ファイル識別子は.bmpである。

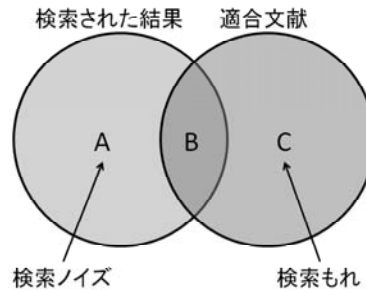
(29)ファイルは、サイズが非常に大きくなってしまいが、画像の場合にはかなりの効率で圧縮可能である。その代表的な方法が(30)である。

解答群

- | | | | |
|---------|---------|-----------|---------|
| a. JPEG | b. PCM | c. 画素 | d. テキスト |
| e. 動画 | f. バイナリ | g. ビットマップ | h. フォント |

問7 次の文章の(31)～(35)に入る最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

検索もれと検索ノイズの関係を図示すると、次の図のようになる。



ここで、

- ・ A：検索ノイズの件数
- ・ B：検索された適合文献の件数
- ・ C：検索もれの件数

とおくと、評価指標として、精度と再現率を次のように定義できる。

$$\text{精度} = \frac{B}{A+B} \times 100(\%) \quad (31)$$

$$\text{再現率} = \frac{B}{B+C} \times 100(\%) \quad (32)$$

精度は(33)に関する指標であり、(33)が少ないほどその値は高くなる。それに対して再現率は(34)に関する指標であり、(34)が少ないほどその値は高くなる。なお、実際には(35)は計算できない。なぜなら、図の適合文献の大きさは現実にはわからないからである。(もしこれがわかっていたら検索の必要はない)。

解答群

- | | | |
|----------|----------|----------|
| a. A + B | b. A + C | c. B + C |
| d. 検索ノイズ | e. 検索もれ | f. 再現率 |
| g. 情報資源 | h. 精度 | i. 満足度 |

問8 次の(36)～(40)には、コンピュータ、周辺機器およびソフトウェア等の用語を分類した上で記載している。それぞれについて関連性の高い用語を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (36) FreeBSD MS-DOS Windows7
 (37) COBOL BASIC FORTRAN
 (38) LD CD-R CD-ROM
 (39) Shift-JIS ASCIIコード ユニコード
 (40) CFカード USBメモリ SDメモリーカード

解答群

- | | | | | |
|-------------|--------|-----------|---------|-------------|
| a. B-CASカード | b. CRT | c. DVD-RW | d. EUC | e. IEEE1394 |
| f. Java | g. MO | h. MPEG | i. UNIX | j. フラッシュメモリ |

問9 次の(41)～(45)の各文章について、正しいものには a を、誤りであるものには b を解答用紙にマークしなさい。

- (41) 米国のARPANETは1960年代末に稼動した。
- (42) WWWは1980年代半ばから、全世界に急速に広まり、それとともに、サーチエンジンも開発され、現在の情報化社会にとっては欠くことのできない構成要素となっている。
- (43) 一般に、企業や官公庁、大学などの組織内に構成されたネットワークをLANと呼ぶ。
- (44) ドメイン名とIPアドレスとを対応づけるシステムをDIPと呼ぶ。
- (45) ある2つのコンピュータを接続するときに、データを送信する経路が複数存在することがインターネットの1つの特徴である。

問10 次の(46)～(50)の説明にあてはまる最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (46) 遠隔のコンピュータ(ホストコンピュータやサーバ)に接続して、そのコンピュータの端末として機能するためのプロトコル。
- (47) コンピュータ間でファイルを転送(コピー)するためのプロトコル。
- (48) ネットニュースのメッセージを転送するためのプロトコル。
- (49) 電子メール・サーバ間などでデータを転送するためのプロトコル。
- (50) HTML で書かれたファイルをブラウザで読み出すためのプロトコル。

解答群

- | | | | |
|---------|---------|-----------|-----------|
| a. FTP | b. HTTP | c. LAN | d. MARC |
| e. NNTP | f. SMTP | g. TCP/IP | h. Telnet |

問11 次の(51)～(55)の説明にあてはまる最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (51) 他人のコンピュータに勝手に入り込み、コンピュータシステムに異常をもたらすなどの不正な働きをするプログラムのこと。
- (52) あるコンピュータを利用するときや会員制Webサイトを閲覧するときなど、あるユーザがそのサービスを利用できる正規のユーザであるかどうかを確認すること。
- (53) あるコンピュータへのアクセス権限をもたないユーザが勝手にそのコンピュータに入り込み、不正に利用すること。
- (54) インターネット上でやりとりする情報のなかには、住所や氏名といった個人情報、クレジットカード番号や暗証番号など、他人に知られたくないものもある。こうした情報を安全に送信する方法として使用される。
- (55) 電子化された文書などに手書きの署名や押印と同等の有効性をもたせるために、電子的な方法で行う署名のこと。

解答群

- | | | | |
|----------|----------------|---------|---------------|
| a. 暗号化技術 | b. コンピュータ・ウイルス | c. スпам | d. セキュリティ・ホール |
| e. 電子署名 | f. 認証 | g. ハッカー | h. 不正アクセス |

問12 次の(56)～(60)の説明にあてはまる最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (56) 公的な標準機関によって制定される標準。
- (57) 国際的な工業標準の策定を目的に、各国の標準化機関がメンバーとなって1947年に設立された非政府組織で、本部はスイスのジュネーブに置かれる。
- (58) 電気通信分野の国際標準化を担当する機関で、国際連合の下部機関にあたる。本部はスイスのジュネーブに置かれている。
- (59) 経済産業省に設置されている審議会で、日本における工業標準化を担当している。日本工業規格JISの制定・改正やJISマークの指定などについて審議を行う。
- (60) 公的標準機関ではないが、WWWに関する標準を策定している国際的な非営利団体である。HTMLをはじめ、XMLやRDFなど、WWWに関するさまざまな情報技術についての仕様を策定している。

解答群

- | | | |
|------------|------------|--------------|
| a. RFC | b. W3C | c. 国際電気通信連合 |
| d. 国際図書館連盟 | e. 国際標準化機構 | f. デジュール標準 |
| g. デファクト標準 | h. 日本認証機関 | i. 日本工業標準調査会 |

選択Aコース

問13-A 次の(61)～(65)の説明にあてはまる最も適切な用語を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (61) 森清がDDCとカッターの展開分類を参考に作成し、日本の標準分類表として広く使用されている分類法
- (62) 特許文献の技術内容に付与するための国際的に統一された分類法
- (63) 最新の出版物や論文や記事を探することができるように資料の書誌情報だけを一定の順序に収録して定期的に刊行される資料
- (64) 標題から抽出したすべてのキーワードが索引中のほぼ中央にアルファベット順または五十音順に出力され、元の文脈をそのまま保存した形で表示した索引
- (65) 索引語の結合(組合せ)を検索時に行う索引方式

解答群

- | | | | |
|-------------|-------------|-----------|--------|
| a. IPC | b. KWIC索引 | c. KWOC索引 | d. NDC |
| e. NDLC | f. UDC | g. 索引誌 | h. 抄録誌 |
| i. 事後結合索引方式 | j. 事前結合索引方式 | | |

問14-A 次の文章の(66)～(70)にあてはまる最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

シソーラスは、基本的に(66)、(67)、相互参照、スコープノートなどから構成されている。(67)は、シソーラスや件名標目表の見出し語にはなっているが索引語としては使用できない語で、参照先の(66)を索引語として使用する。

シソーラスの一つであるJST科学技術シソーラス(2008年版)では、階層関係が(68)などの記号で示され、さらに階層関係の細分は(69)の数で表される。

JST科学技術シソーラス(2008年版)は、自然科学分野の学術雑誌論文が索引対象となっているが、(70)は図書が索引対象となっている。

解答群

- | | | |
|-------------|-----------------|------------|
| a. BT | b. JICST科学技術分類表 | c. USE |
| d. 基本件名標目表 | e. 自由語 | f. スラッシュ |
| g. ディスクリプタ | h. 中点 | i. 日経シソーラス |
| j. 非ディスクリプタ | | |

問15-A 次の(71)～(75)の各文章について、正しいものには a を、誤りであるものには b を解答用紙にマークしなさい。

- (71) 抄録の役割の一つに、「情報を必要とする人がその原文献の全文を読む必要があるかどうかを判断できるようにする」ことがある。
- (72) 報知的抄録の長さは、一般的に欧文で30～50語、和文で50～70字程度であり、原著論文や短報に適している。
- (73) 著者抄録は、内容を一番良く知っている著者が作成し、原文献と同時に作成される。客観性にも優れている反面、作成費用と作成時間がかかる点が問題である。
- (74) 同所抄録は、おもに抄録誌やデータベース、雑誌の関係論文紹介欄、企業内や機関内で作成される抄録集などに掲載される。
- (75) 抄録の書き方については、『SIST 01 抄録作成』に一般的留意事項が記載されており、「常識的な内容は排除する」「単位記号、量記号は、原記事に使用されているとおりに使用する」等の項目があげられている。

問16-A 次の文章の(76)～(80)に入る最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

わが国では著作権法が(76)に改正された時、データベースが著作物であることが初めて条文化された。すなわち、著作権法第12条の2に、「データベースでその情報の選択又は体系的な構成によって(77)を有するものは、著作物として保護する。」と明記された。著作権法のデータベースの定義は以下のとおりである。著作権法の定義(著作権法(78))：「論文、数値、図形その他の情報の(79)であって、それらの情報を(80)を用いて検索することができるように体系的に構成したものをいう。」

解答群

- | | | |
|------------|----------|------------|
| a. 1986年 | b. 1994年 | c. 記録 |
| d. 集合物 | e. 創作性 | f. 第2条10の3 |
| g. 第5条10の1 | h. 電子計算機 | i. 独自性 |

問17-A 次の(81)～(85)の各文章について、正しいものには a を、誤りであるものには b を解答用紙にマークしなさい。

- (81) NDL-OPAC、Webcat Plusなどは蔵書を検索できる検索サイトである。
- (82) MEDLINEは人物情報を検索できるデータベースである。
- (83) WayBackMachineは過去のWebページを検索できるアーカイブサイトである。
- (84) MAGAZINEPLUSは図書を検索できるデータベースである。
- (85) ERICは教育学分野の文献を検索できるデータベースである。

問18-A 次の(86)～(90)の説明にあてはまる最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (86) データベースの作成や更新を行う機関のことである。一定の選択基準に基づいて情報を収集・選択し、分類付与、キーワード付与、抄録作成などを行い、磁気テープに蓄積する作業を行っている。
- (87) データベースを購入して、自社のホストコンピュータに載せて、自社の情報検索システムで利用できるように準備して利用者に提供する機関のことである。
- (88) オンライン情報検索を行うには、データベースを提供しているホストコンピュータと利用者のパソコンを通信回線で接続しなければならない。この通信回線を提供する機関のこと。NTT東日本、NTT西日本などがある。
- (89) 有料の商用データベースを利用するには、利用者契約を結ばなければならない。契約手続き、日常のトラブル、システムの講習会やセミナー、新規データベースの紹介などを行う機関のこと。
- (90) 利用者自身がさまざまな理由から直接検索できない場合、利用者に代わってデータベースなどを検索し、その結果を利用者に提供するサービスを行う人や機関のことである。個人である場合と、会社などの組織として行っている場合がある。

解答群

- | | | |
|---------------|---------------|-----------|
| a. 検索代行者 | b. 検索利用者 | c. コンセルジュ |
| d. 情報源 | e. 代理店 | f. 通信事業者 |
| g. データベース作成機関 | h. データベース提供機関 | |

選択Bコース

問13-B レポートを執筆するにあたっての留意事項について、次の、(61)～(65)の各文章について、正しいものには a を、誤りであるものには b を解答用紙にマークしなさい。

- (61) 文章は分かりやすい表現を用いながら、簡潔に書くことを心がける。
- (62) 特に指定のない場合、A5判用紙を縦に使い、横書きすることが一般的である。
- (63) 一文が長くなりすぎないようにする。
- (64) 図表にはそれぞれ一連番号を付し、タイトルを添えて表示する。それらは、図の場合には上部、表の場合は下部に標記する。
- (65) 文体は、である調を用いる。

問14-B 次の文章の(66)～(70)に入る最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

問題を設定し、その議論を展開していくためには、他人の(66)や(67)を示した情報を(68)することが不可欠である。これを引用と呼び、引用した箇所は、自らが書いた文章とはっきり区別して書かなければならない。また、どの著作から引用したものか、その出所を明示することが必要である。これらを守らないものは(69)と呼ばれ、著作者の(70)を侵害する行為なので、注意が必要である。

解答群

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| a. 意見 | b. 権利 | c. 参照 | d. 事実 | e. 設定 |
| f. 適用 | g. 盗難 | h. 剽窃 | i. 倫理 | |

問15-B 次の(71)～(75)の引用文献にあてはまる最も適切な資料種別を解答群の中から
選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。同じ記号を2回以上使用してもよい。

- (71) 藤田節子.情報整理・検索に活かすインデックスのテクニック.共立出版,2001,p.118.
- (72) 時実象一.オープンアクセス運動の歴史と電子論文リポジトリ.情報の科学と技術.
Vol.55,no.10,2005,p.425-426
- (73) 科学論文不正なぜ続出.朝日新聞.2006年3月1日(朝刊),p.15.
- (74) 日本図書館協会."公立図書館の指定管理者制度について".日本図書館協会.(オンライン),
入手先: <http://www.jla.or.jp/kenkai/siteikanrisya.pdf> (参照2006-03-24).
- (75) 池田輝政ほか.成長するティップス先生:授業デザインのための秘訣集.玉川
大学出版部,2001,p.97-99. (高等教育シリーズ,104)

解答群

- | | | | |
|-----------|------------|-------------|------------|
| a. Webサイト | b. 雑誌論文 | c. 新聞記事 | d. 単行本(図書) |
| e. データベース | f. ニュースレター | g. メーリングリスト | h. 予稿集 |

問16-B 次の(76)～(80)の文章について、正しいものには a を、誤りであるものには b を
解答用紙にマークしなさい。

- (76) ワードプロソフトの主な機能は、文章の入力や編集、完成した文書の印刷であり、他のアプリケーションソフトで作成した図やグラフ、パソコンに取り込んだ写真データを挿入することはできない。
- (77) 文書作成は、キーボードから文字を入力するところから始まる。日本語を入力できる機能は、ワードプロソフトの機能の一部である。
- (78) 本文中で扱えなかった事項や引用文献を挿入するために利用するのが脚注である。
Microsoft社が提供するワードプロソフトであるWordでは、ページごとに脚注を入れる場合と、文書末にまとめて記載する文末脚注がある。
- (79) ワードプロソフトの重要な機能の一つである文書の印刷において、ディスプレイに表示された内容をそのまま印刷物として出力できることをオンデマンド印刷と呼ぶ。
- (80) 単純な統計解析であればExcelのような表計算ソフトでも可能であるが、クロス集計表や記述統計、因子分析、回帰分析といったさまざまな統計手法を用いるためには、統計解析ソフトの活用が適切である。

問17-B 次の文章について (81) ~ (85) にあてはまる最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

次の図は、Microsoft社のExcel2010のワークシート画面である。

Excelをはじめとする表計算ソフトには、(81) と呼ばれるあらかじめ定義された数式が用意されており、これを用いてさまざまな計算をすることができる。(81) には、最大値を求める (82)、四捨五入した値を求める (83)、日付を求めるDATEなどさまざまな種類が用意されている。図中、『博士の愛した数式』の7月から12月の売り上げ冊数の合計を求めるときには、セルK2に「= (84)」と入力すればよい。

Excelには、さまざまなグラフを作成する機能が用意されている。例えば、1位から10位までの合計冊数を比較するには、(85) グラフが適している。

番号	タイトル	出版社	ジャンル	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
1	博士の愛した数式	新潮社	小説	43	36	39	36	37	39	230	38.3
2	下流社会	光文社	評論	24	28	32	36	43	48	211	35.2
3	ダ・ヴィンチ・コード	角川書店	小説	25	37	35	45	31	34	207	34.5
4	バカの壁	新潮社	評論	31	35	35	34	36	28	199	33.2
5	半落ち	講談社	小説	17	10	12	56	49	50	194	32.3
6	終末のフール	集英社	小説	23	25	25	31	31	36	171	28.5
7	いま、会いにゆきます	小学館	小説	16	21	21	18	15	17	108	18.0
8	東京タワー	扶桑社	小説	8	11	12	14	14	16	75	12.5
9	生協の白石さん	講談社	エッセイ	8	10	10	11	11	11	61	10.2
10	電車男	新潮社	小説	5	6	10	10	9	13	53	8.8

解答群

- | | | | |
|----------------|----------------|--------|--------|
| a. ALL (E2:J2) | b. AVERAGE | c. MAX | d. MIN |
| e. ROUND | f. SUM (E2:J2) | g. 円 | h. 関数 |
| i. コマンド | j. 棒 | | |

問18-B 次の(86)～(90)の説明にあてはまる最も適切な用語を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (86) パソコン用として一般的なデータベースソフトの種類で、Microsoft社のAccessなどがある。
- (87) 授業や会議、研究発表、講演などで発表を行うための資料を作成し、それを表示するためのアプリケーションソフトである。
- (88) グラフィックスソフトの種類で、絵をベクトルデータ、すなわち点や線の方向や長さ、その位置などをデータとして記録し、それをもとに描画する。
- (89) Webブラウザを利用してメールのやりとりをできるサービスのことである。
- (90) インターネット上で流通する文書ファイルでよく用いられる形式であり、Adobe社が提供するAcrobat Readerなどを使って閲覧できる。

解答群

- | | | |
|-------------------|-----------------|------------|
| a. PDF | b. RDF | c. SPSS |
| d. Webメール | e. ウェブログ | f. ドローソフト |
| g. ネットワーク型データベース | h. プレゼンテーションソフト | i. ペイントソフト |
| j. リレーショナル型データベース | | |